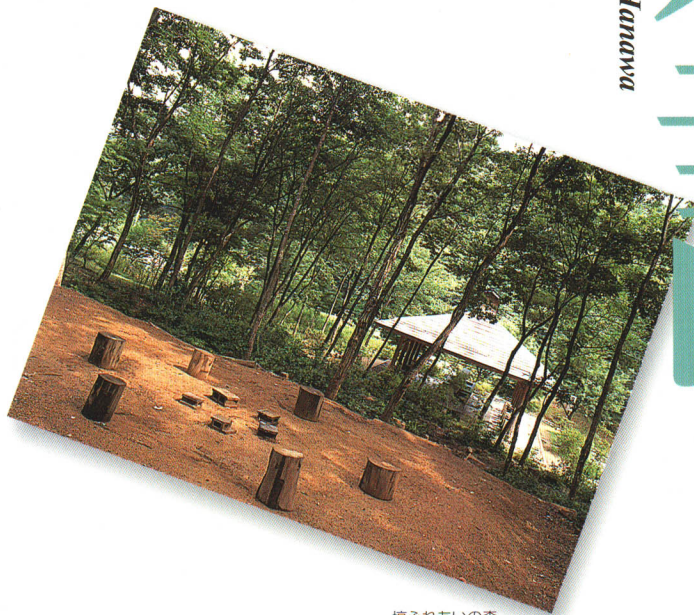


自然との対話



瑞ふれあいの森



八溝山系(真名畑)の森林

総面積の約80%が森林という埴町は、東部に阿武隈山系、西部に八溝山系の山々が連なる緑に囲まれた自然豊かな町です。人々はこれらの山から生まれる良質な木材や山菜、キノコなどの豊富な森林資源を生かし、育みながら、山と寄り添う暮らしを大切にしてきました。この町の人々にとって山は生活の糧であり、日常の景色そのものなのです。

また、これらの山々を水源とする河川もまた田畑や人々の暮らしを潤し、町にさまざまな恵みをもたらしながら流れています。町を縦断する久慈川はアユ釣りの名所として知られ、6月の解禁を待つて県内外の太公望がたくさん訪れます。さらに建設省が進めている「ふるさとの川モデル事業」に指定されてからは、河川敷を利用した運動公園や人工漁礁などが整備・計画され、親しみのもてる水辺づくりが現在、進行中です。

町内にはこのほか、町の自然を生かした見どころがたくさんあります。日本最初の庶民公園として伝えられる「向ヶ岡公園」は、春、枝垂れ桜のほのかな香りに包まれます。全山ツツジにおおわれる「風呂山公園」は、初夏の訪れを知らせる町のシンボルです。

奥久慈県立自然公園に指定されている八溝山は、久慈川の源流が流れるこの地方、最高峰の山。東日本屈指の杉の美林が天を仰ぐ姿は実に見事ですが、夏の訪れとともに群生する石楠花や秋の紅葉も見逃せません。太石と玄岩が織り成す「川上溪谷・蒼ヶ島」は、新緑と紅葉の季節がおすすめの景勝地。広葉樹の森に遊歩道やキャンプサイトを整備した「瑞ふれあいの森」は、森林浴やバードウォッチングが身近に楽しめる山林公園です。また、古くから人々に親しまれてきた「湯岐温泉」や「谷川の湯」「志保の湯」などの名湯にも恵まれ、埴町はまさに自然の恵みにあふれています。



那倉溪谷

●風呂山公園

戦後の荒廃期、若者たちが希望の樹としてツツジを植えたことから別名「青年山」としても親しまれ、毎年5月初旬になると約3,300本の山ツツジが山全体を紅色に包みます。